

基本目標3 海・山・川をたいせつにしたまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 循環型社会の確立
施策	④ ごみの減量化と資源の再利用を進める
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容】

事業名	糸島市クリーンセンター中間改修事業			担当部課	環境部	環境施設課			
事業目的	糸島市クリーンセンターは、平成12年度に稼働開始し、平成25年度末には、14年が経過するため、各機器が老朽化し、損傷が激しく処理に支障を及ぼすことから、各機器を更新し、安定した処理を行うとともに、施設の延命化を図るものである。			事業主体	糸島市				
				実施方法	直営				
事業内容	電気・計装設備(コンピュータ制御装置等)の更新工事をはじめ、溶融炉設備の耐火物更新や溶融物処理設備の更新を行うものである。また、循環型社会形成推進交付金事業としてCO ₂ の3%以上を削減するための工事も併せて実施するものである。			進捗状況・現状	施設稼働開始から13年目を迎え、各機器の摩耗損傷が激しく、定期整備箇所が増加に加え、突発補修工事が年々増加している。また、電気・計装(コンピュータ制御装置など)では、部品の調達が困難な状況にある。				
事業期間	平成26年度～平成28年度(3年間)			会計種類	一般会計				
総事業費	2,152,500	千円	(うち市予算化分) 2,152,500 千円	予算科目	款 4	項 3	目 2	細目 6	細々目
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値		最終目標値		
市民	安定したごみ処理	施設の延命化(年)		0	—		10		

【事業費について】

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	合計	
財源内訳	国庫支出金		91,140	300,760	391,900	
	県支出金					
	地方債		175,300	718,200	893,500	
	その他					
	一般財源		22,144	119,289	141,433	
事業費(A)			288,584	1,138,249	1,426,833	
事業費内訳(主なもの)			計装設備 250,442	燃焼設備 303,383 電気設備 203,507		
従事職員数(人)			1.2	1.2	平均人件費	8,500
人件費(B)			10,200	10,200	人件費割合(%)	1.4
総コスト(A+B)			298,784	1,148,449	総コスト計	1,447,233
特定財源の名称(使途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
循環型社会形成推進交付金	国庫支出金	循環型社会形成推進交付金要綱			3分の1	
教育・福祉施設等整備事業	地方債	一般廃棄物処理事業			50%及び30%	

基本目標3 海・山・川をたいせつにしたまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 循環型社会の確立
施策	④ ごみの減量化と資源の再利用を進める
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容】

事業名	糸島市クリーンセンター集じん灰貯留槽改造事業				担当部課	環境部	環境施設課				
事業目的	平成24年度5月よりアームロール車にて、飛灰を搬出しているが、飛灰の貯留槽を改造し、ジェットバック車で運搬することで経費の削減を図るのもである。				事業主体	糸島市					
					実施方法	直営					
事業内容	コンベアーの増設や環境集じん装置の設置工事を行い、ジェットバック車で搬出ができるように実施するものである。				進捗状況・現状	溶融施設から発生する飛灰をアームロール車で運搬している。					
事業期間	平成25年度(1年間)				会計種類	一般会計					
総事業費	45,000	千円	(うち市予算化分)	45,000	千円	予算科目	款	項	目	細目	細々目
							4	3	2	6	
受益者	受益者の考えている価値		求められる成果(単位)		事業開始時	現在値		最終目標値			
市民	安価なごみ処理費		飛灰資源化経費削減(平成26年予算)		0	—		△12,600			

【事業費について】

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	合計		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	45,000			45,000		
事業費(A)		45,000			45,000		
事業費内訳(主なもの)		工事費					
従事職員数(人)		0.2			平均人件費	8,500	
人件費(B)		1,700			人件費割合(%)	3.6	
総コスト(A+B)		46,700			総コスト計	46,700	
特定財源の名称(使途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等				補助率、交付税措置率等	

基本目標3 海・山・川をたいせつにしたまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 循環型社会の確立
施策	④ ごみの減量化と資源の再利用を進める
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容】

事業名	段ボールコンポスト普及促進事業				担当部課	環境部	生活環境課			
事業目的	段ボールコンポスト講習会開催時に、参加者にコンポストを配布し利用してもらうことで、普及につなげる。				事業主体	糸島市				
					実施方法	補助				
事業内容	H25～H26の2年間。市主催の段ボールコンポスト講習会を実施し、参加者にコンポストを配布する。				進捗状況・現状	段ボールコンポスト補助個数				
	講習会…市立公民館16会場×2回×2年 = 64回実施 ※1年間に32回開催 参加人数…延べ1,000人を予定(1年間で500人)					平成21年度 4,980個 平成22年度 4,319個 平成23年度 3,966個 可燃ごみ搬入量 平成21年度 25,391トン 平成22年度 25,202トン 平成23年度 25,543トン				
事業期間	平成25年度～平成26年度(2年間)				会計種類	一般会計				
総事業費	1,000	千円	(うち市予算化分)	千円	予算科目	款	項	目	細目	細々目
			1,000			4	3	2	3	
受益者	受益者の考えている価値		求められる成果(単位)		事業開始時	現在値		最終目標値		
市民	ごみ減量と資源の活用		補助個数(個)		3,966個	3,966個		4,800個		

【事業費について】

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	合計		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	500	500		1,000		
事業費(A)		500	500		1,000		
事業費内訳(主なもの)		需用費(消耗品費) 段ボールコンポスト @1,000円×500個		同左			
従事職員数(人)		0.2	0.2		平均人件費	8,500	
人件費(B)		1,700	1,700		人件費割合(%)	77.3	
総コスト(A+B)		2,200	2,200		総コスト計	4,400	
特定財源の名称 (用途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付 税措置率等	

基本目標3 海・山・川をたいせつにしたまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 循環型社会の確立
施策	⑤ エネルギーの無駄遣いを削減し、クリーンエネルギーを導入する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容】

事業名	庁舎等照明機器改修事業				担当部課	総務部	管財契約課			
事業目的	糸島市庁舎等内の照明器具を取替え、省エネ、節電、二酸化炭素排出量の削減等の環境保全方策を市が率先垂範して実施することを市内外へPRする。				事業主体	糸島市				
					実施方法	直営				
事業内容	当課において、公共性の高い施設(職員及び市民が頻繁に集う施設)を抽出し、順次、照明器具をLED照明器具に取替える。				進捗状況・現状	平成24年度施工施設 市役所本庁舎新館(1~3階、監査室)及び駅自由通路(筑前前原駅、美咲が丘駅、福吉駅)				
事業期間	平成24年度～平成33年度(10年間)				会計種類	一般会計				
総事業費	280,863	千円	(うち市予算化分) 280,863	千円	予算科目	款	項	目	細目	細々目
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			事業開始時	現在地	最終目標値			
糸島市 市民	省エネ、節電、二酸化炭素排出量の削減	取替(改修)済施設の割合(%)			0	9.5% (4施設)	100% (42施設)			

【事業費について】

		(単位:千円)				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	21,213	30,000	30,000	81,213	
事業費(A)		21,213	30,000	30,000	81,213	
事業費内訳(主なもの)						
従事職員数(人)		1	1	1	平均人件費	8,500
人件費(B)		8,500	8,500	8,500	人件費割合(%)	23.9
総コスト(A+B)		29,713	38,500	38,500	総コスト計	106,713
特定財源の名称 (用途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等				補助率、交付 税措置率等

基本目標3 海・山・川をたいせつにしたまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 循環型社会の確立
施策	⑤ エネルギーの無駄遣いを削減し、クリーンエネルギーを導入する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容】

事業名	再生可能エネルギー導入推進事業			担当部課	環境部	生活環境課			
事業目的	糸島市への再生可能エネルギー導入のための可能性調査を行うと共に、導入の第一段として、白糸の滝ふれあいの里へ小水力発電設備を導入し、広く市民にアピールしながら環境都市づくりを推進する。			事業主体	糸島市				
				実施方法	直営				
事業内容	九州大学(工学研究院・島谷研究室)の協力を受け、白糸の滝ふれあいの里に小水力発電設備を設置して、ふれあいの里の電気を賄うと共に、余剰電力は売電を行う。			進捗状況 ・ 現状	東日本大震災、原発事故の後、全国的に再生可能エネルギーの導入が進められている。				
	糸島市内における具体的な再生可能エネルギーの立地可能性について基礎調査を実施し、メニュー化して民間事業者による設備の導入推進を図るほか、市独自の設置についても推進する				平成24年度に、再生可能エネルギー導入推進計画の策定、九州大学島谷研究室にて小水力発電設備にかかる基本設計を行うことにしている。				
事業期間	平成24年度～平成25年度(2年間)			会計種類	一般会計				
総事業費	50,911	千円	(うち市予算化分) 50,911	予算科目	款	項	目	細目	細々目
					2	1	11	1	12
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値			
白糸の滝ふれあいの里 市民	施設の電気料の削減 市民へのアピール度	白糸の滝ふれあいの里電気 料金(千円)		1,460千円	1,460千円	0千円			

【事業費について】

					(単位:千円)			
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	合計			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金	25,300			25,300			
	地方債							
	その他							
	一般財源	20,300			20,300			
事業費(A)		45,600			45,600			
事業費内訳(主なもの)		詳細設計委託3,600千円 工事費37,000千円 立地可能性調査委託5,000千円						
従事職員数(人)		0.5			平均人件費	8,500		
人件費(B)		4,250			人件費割合(%)	8.5		
総コスト(A+B)		49,850			総コスト計	49,850		
特定財源の名称 (使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付 税措置率等		
福岡県再生可能エネルギー発 電設備導入促進事業補助金		県支出金	福岡県再生可能エネルギー発電設備導入促進事業補助金交付規程			ハード分50% ソフト分500万限度		